

令和8年度 山田グリーンパーク給水設備改修工事

図面リスト

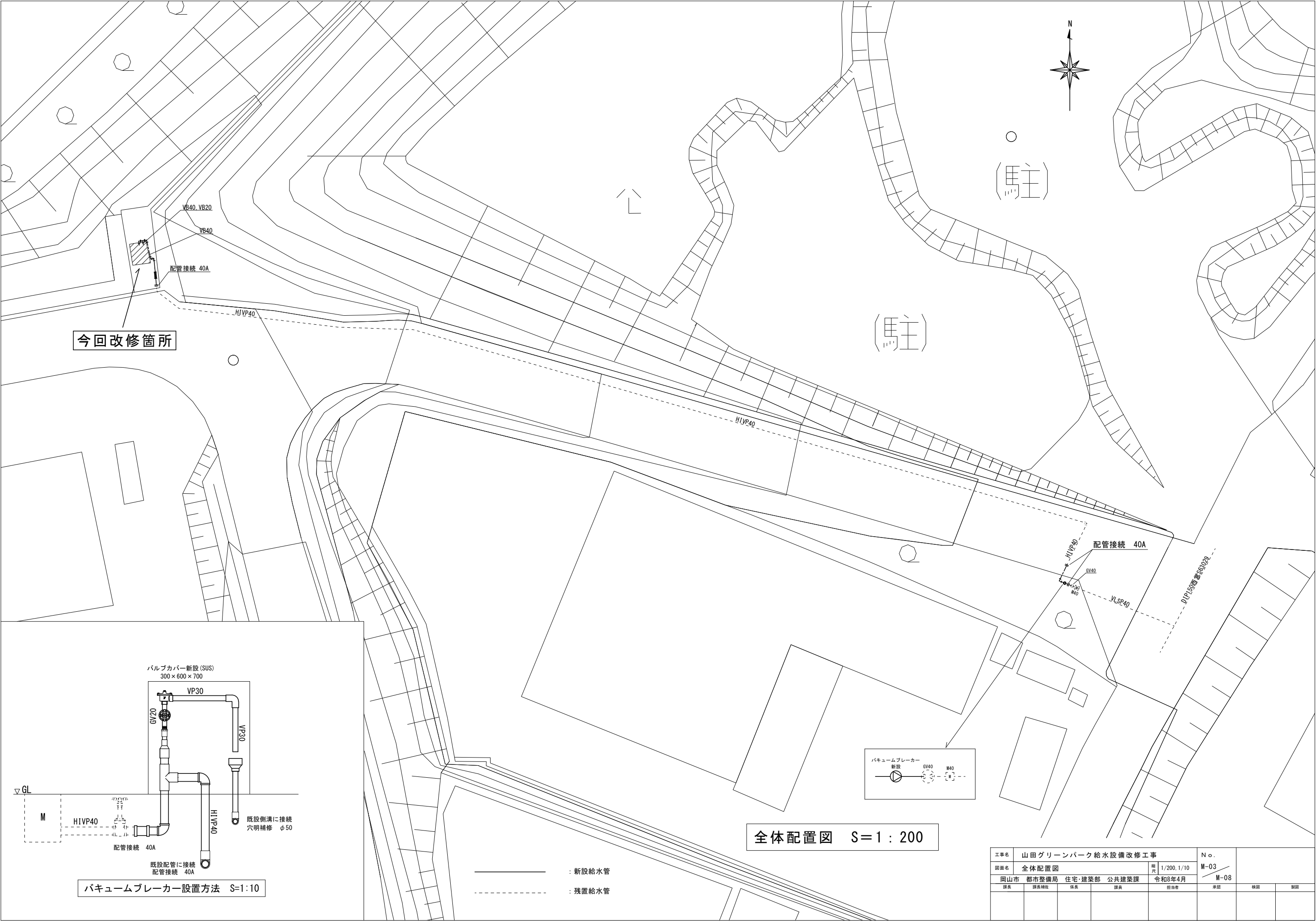
図番	図名	縮尺	備考
M-01	表紙・図面リスト・付近見取図	1/5,000	
M-02	岡山市建築設備工事（機械）仕様書	—	
M-03	全体配置図	1/200 1/10	
M-04	給水設備 受水槽周り詳細図（改修後）	—	
M-05	給水設備 ポンプ室詳細図（改修後）	1/20	
M-06	給水設備 受水槽詳細図（改修後）	1/25	
M-07	給水設備 受水槽周り詳細図（改修前）	—	
M-08	給水設備 ポンプ室詳細図（改修前）	1/20	
E-01	岡山市建築設備工事（電気）仕様書	—	
E-02	ポンプ周辺電気設備図	1/30	
E-03	事務所1階平面図（改修後）	1/50	



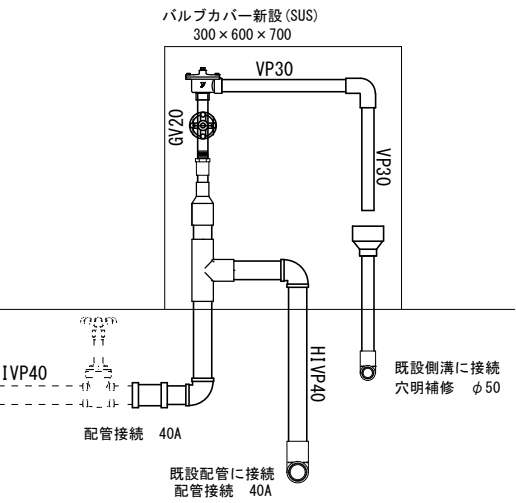
工事場所

付近見取図 S=1 : 5,000

工事名	山田グリーンパーク給水設備改修工事				No.	
図面名	表題・図面リスト・付近見取図	縮尺	1/5,000		M-01	
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年4月	M-08	
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図



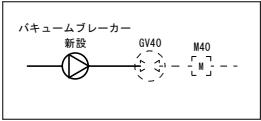
工事名 山田グリーンパーク給水設備改修工事						No.		
図面名 全体配置図				縮尺 1/200, 1/10		M-03		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和8年4月		M-08		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者		承認	検図	製図

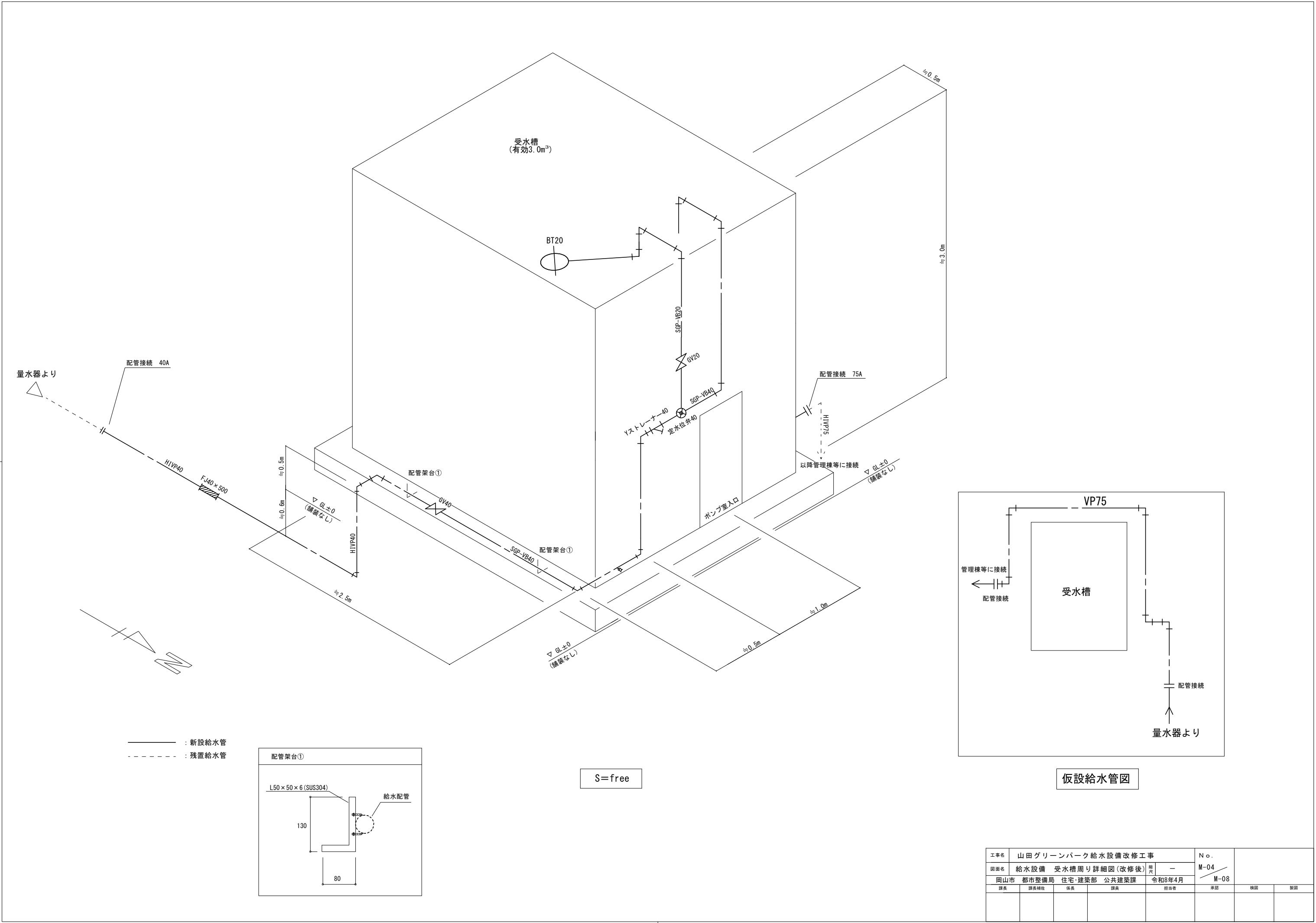


バキュームブレーカー設置方法 S=1:10

——— : 新設給水管
----- : 残置給水管

全体配置図 S=1:200





量水器より

配管接続 40A

H1VP40

FJ40 x 500

±0.5m

±0.6m

▽ GL±0 (舗装なし)

H1VP40

±2.5m

配管架台①

GV40

SGP-VB40

▽ GL±0 (舗装なし)

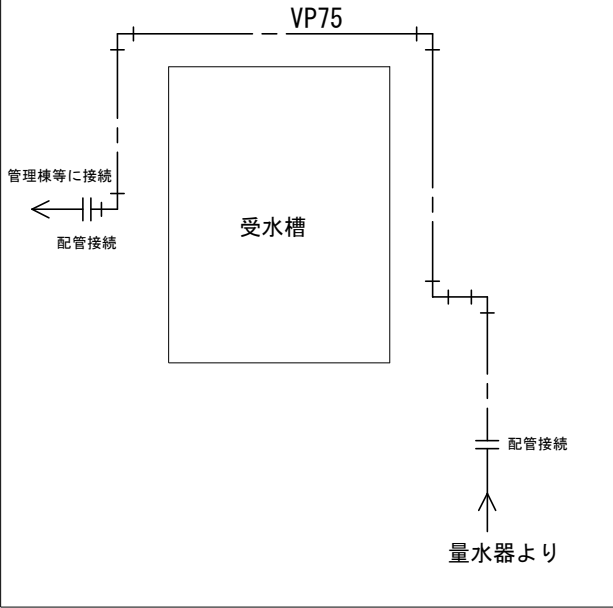
ポンプ差入口

配管接続 75A

H1VP75

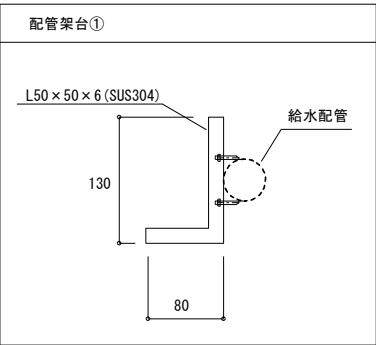
以降管理棟等に接続

▽ GL±0 (舗装なし)



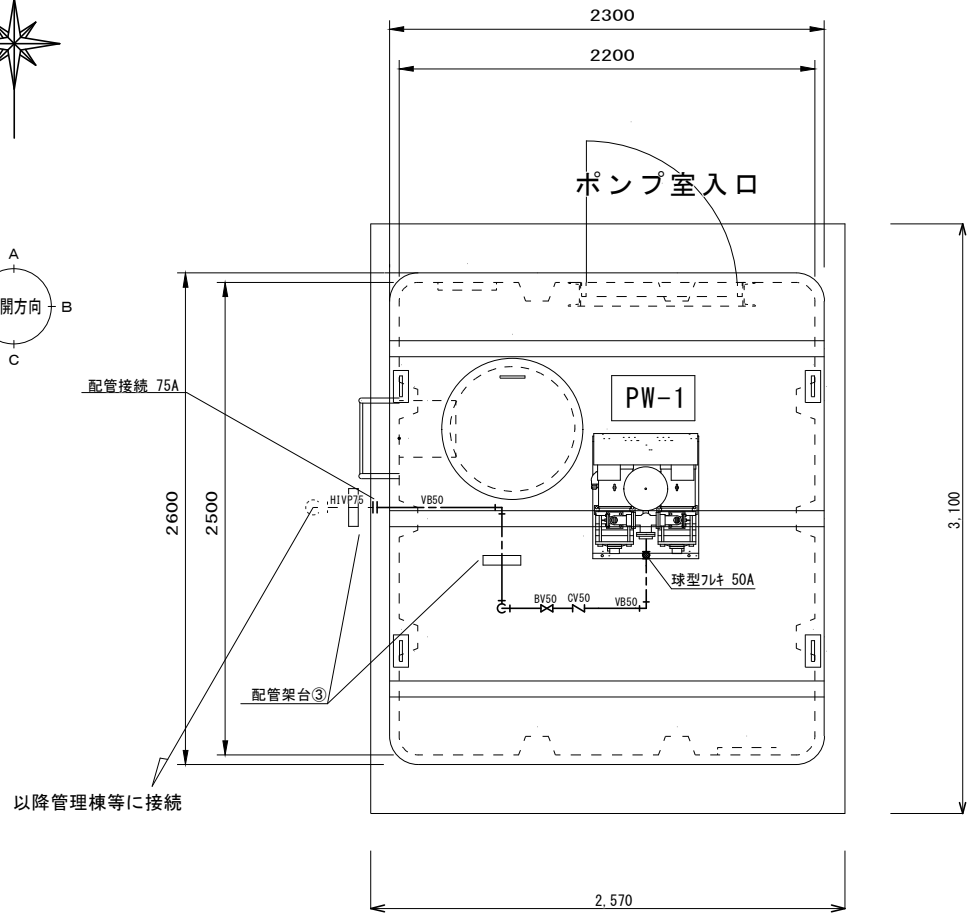
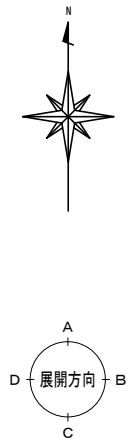
仮設給水管図

————— : 新設給水管
- - - - - : 残置給水管

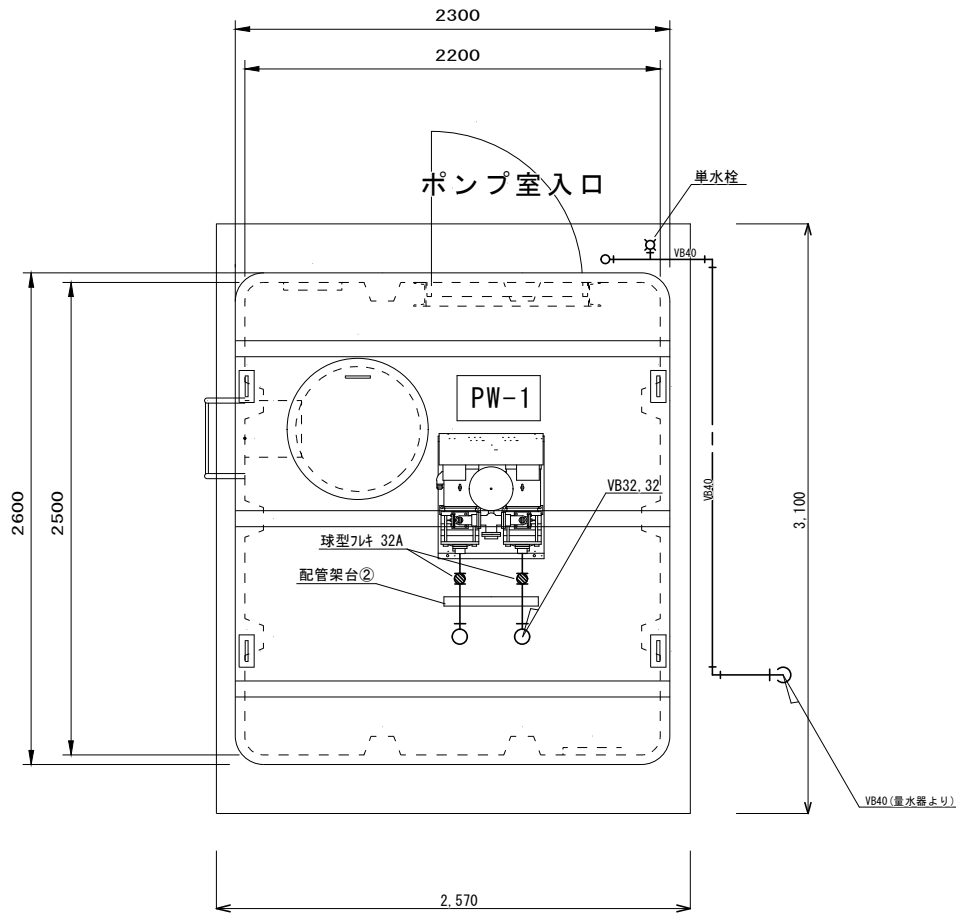


S=free

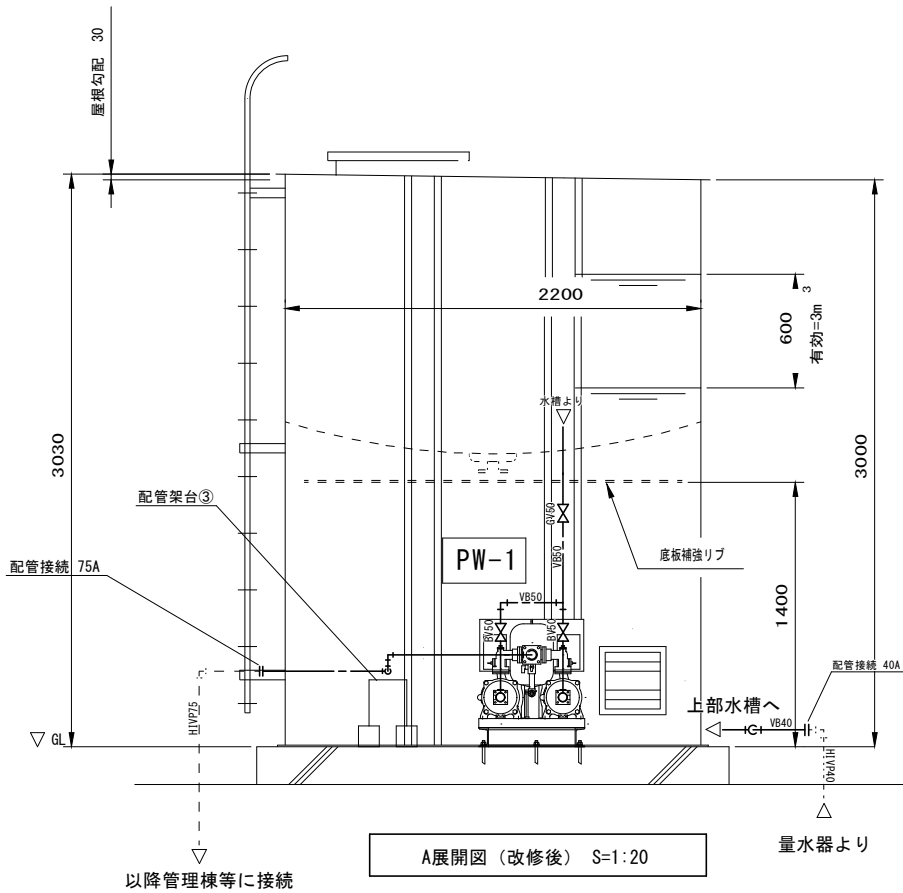
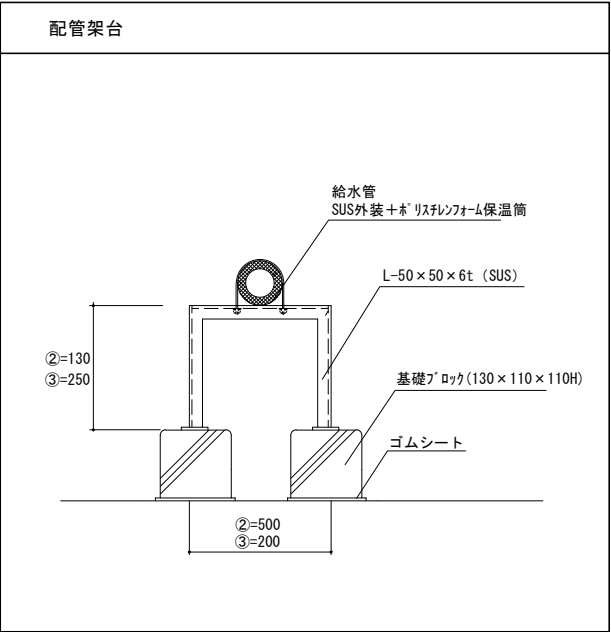
工事名	山田グリーンパーク給水設備改修工事					N o .	M-04 M-08			
図面名	給水設備	受水槽周り詳細図(改修後)	縮尺	—						
岡山市		都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年4月	担当者	承認	検図	製図	
課長	課長補佐	係長	課員							



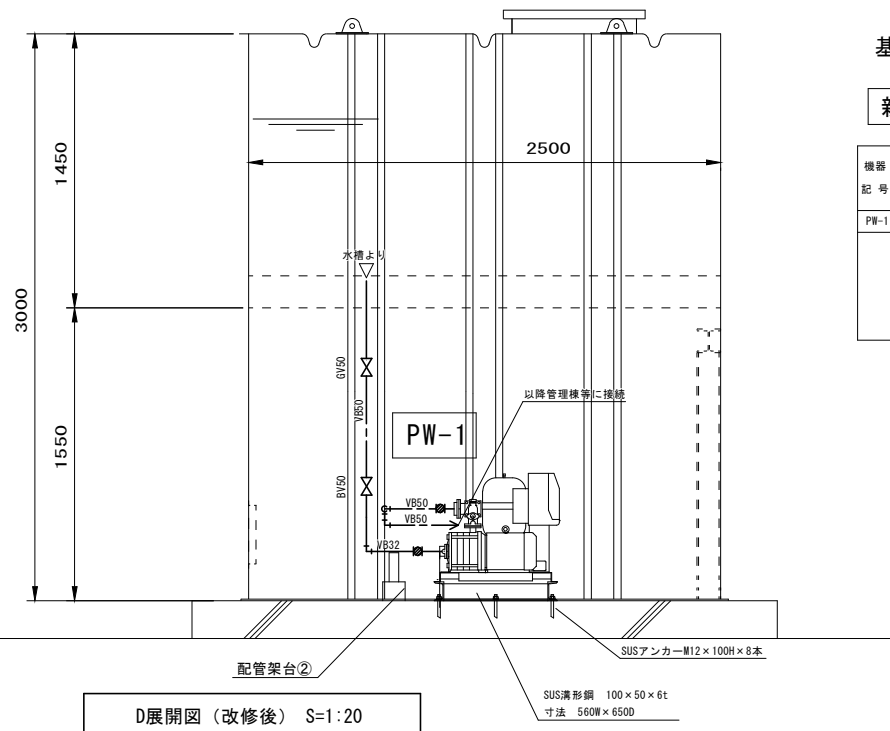
上部配管平面図(改修後) S=1:20



下部配管平面図(改修後) S=1:20



A展開図(改修後) S=1:20



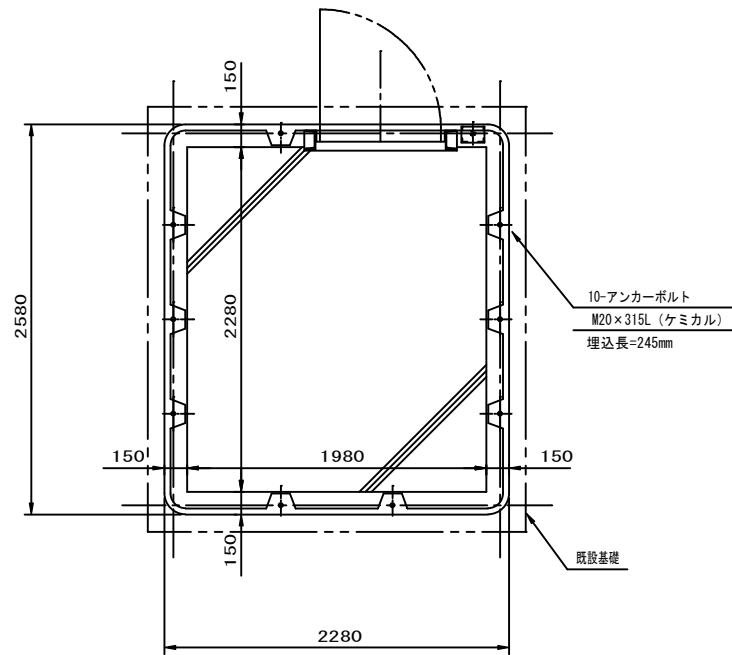
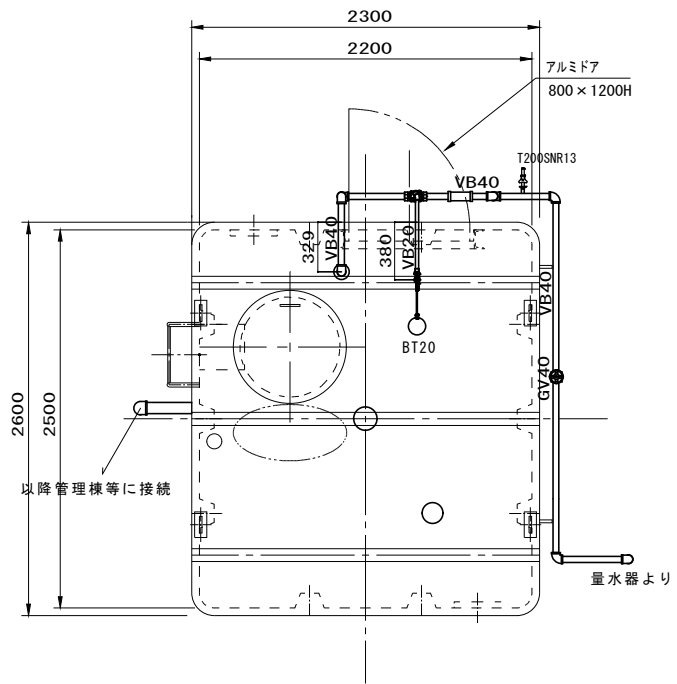
D展開図(改修後) S=1:20

基礎：縦3100 横2570

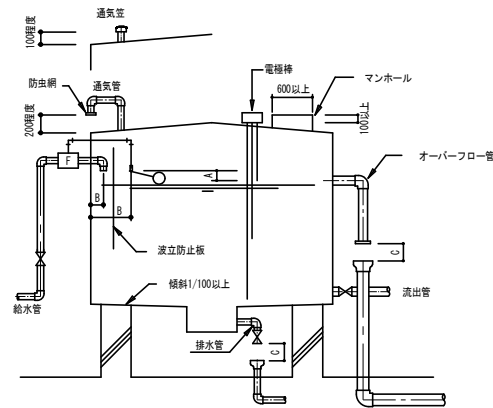
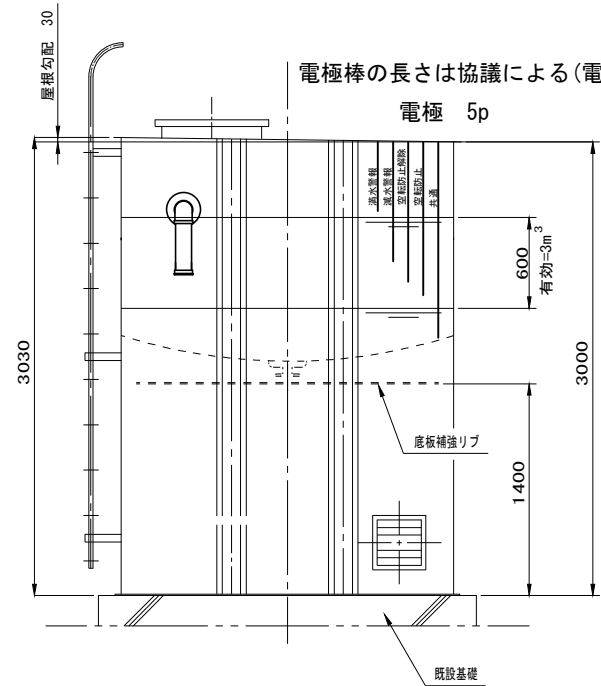
新設機器リスト

機器 記号	名称	機器仕様	電動機		台数	設置場所	備考
			φ-V	KW (W)			
PW-1	加圧給水ポンプ	推定末端圧カー定制御型、自動交互並列運転(流込仕様) ポンプ吸込：32φ ユニット吐出：50φ *撤去給水ポンプと同等品を取付	3-200	2.2x2	1	受水槽下部	参考品番 NX-50VFC324-2.2W-e
	ポンプ架台	SUS清形鋼 [-100x50x6t SUSM12x100φ±3mm7ヶ共]					

工事名	山田グリーンパーク給水設備改修工事					N o.	
図面名	給水設備 ポンプ室詳細図(改修後)				縮尺	1/20	M-05
	岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年5月		M-08
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図



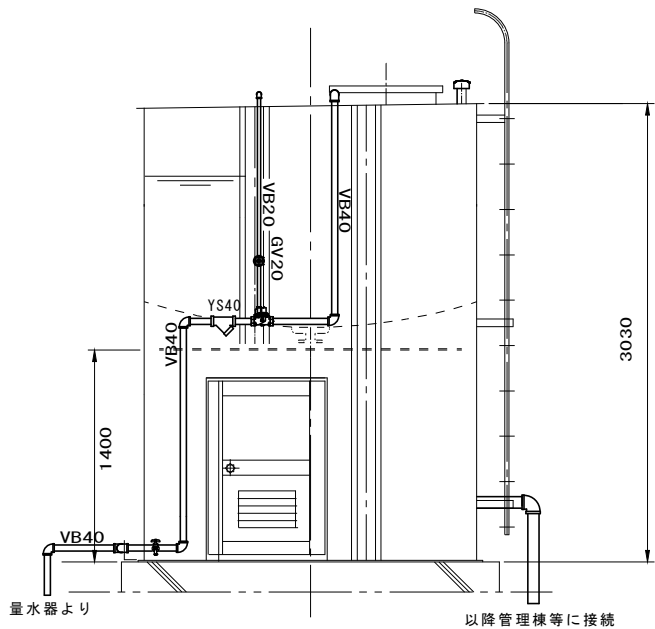
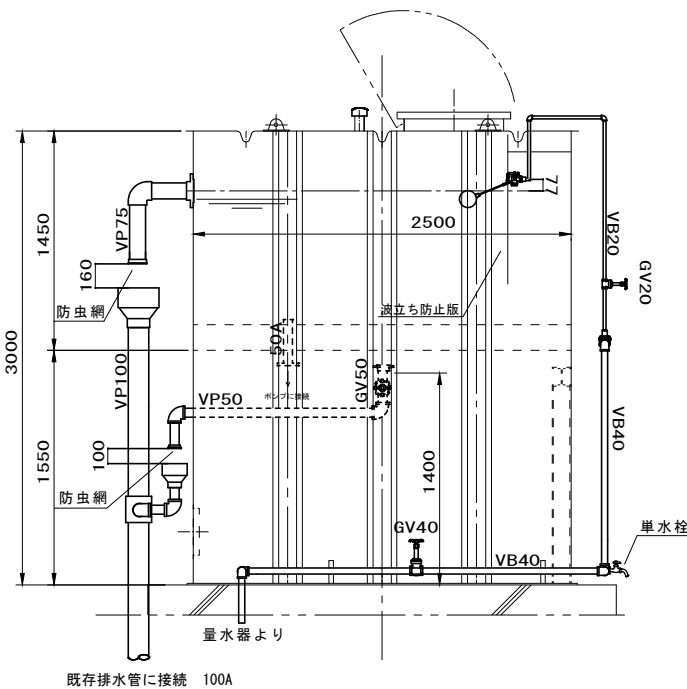
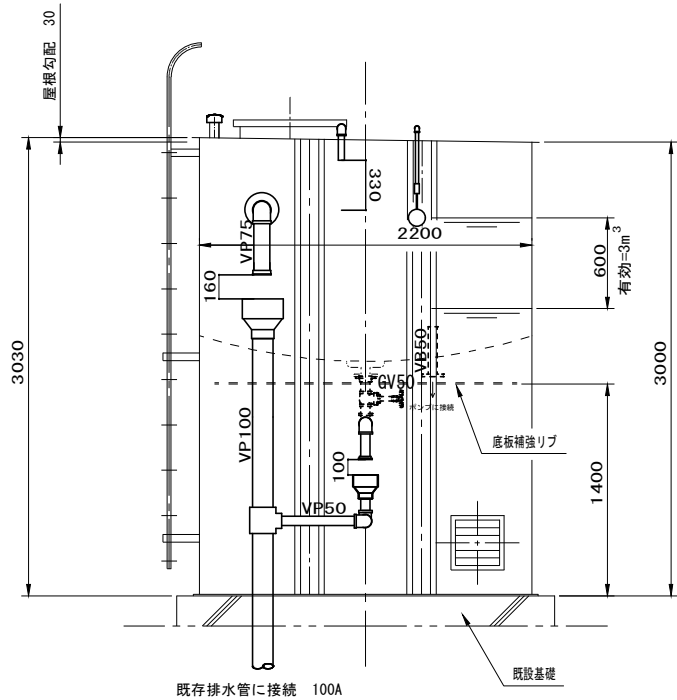
アンカーボルト位置図



吐水口空間		
呼び径	近隣壁と吐水口中心の水平距離 (B)	離置面から吐水口中心の水平距離 (A)
13	25 以上	25 以上
20	40 以上	40 以上
25	50 以上	50 以上
25を超える場合	40以下 40を超え60以下 60を超え70以下 70を超えるもの	3.5d以上 3.0d以上 2.0d+5mm以上 1.7d+5mm以上

注1: Oは排水口空間でオーバーフロー管の図形の2倍以上とする。
注2: Dは吐水口の内径 (mm)
注3: dは有効開口の内径 (mm)
注4: 受水槽周囲は600以上、上部は1000以上のメンテナンススペースを確保すること。

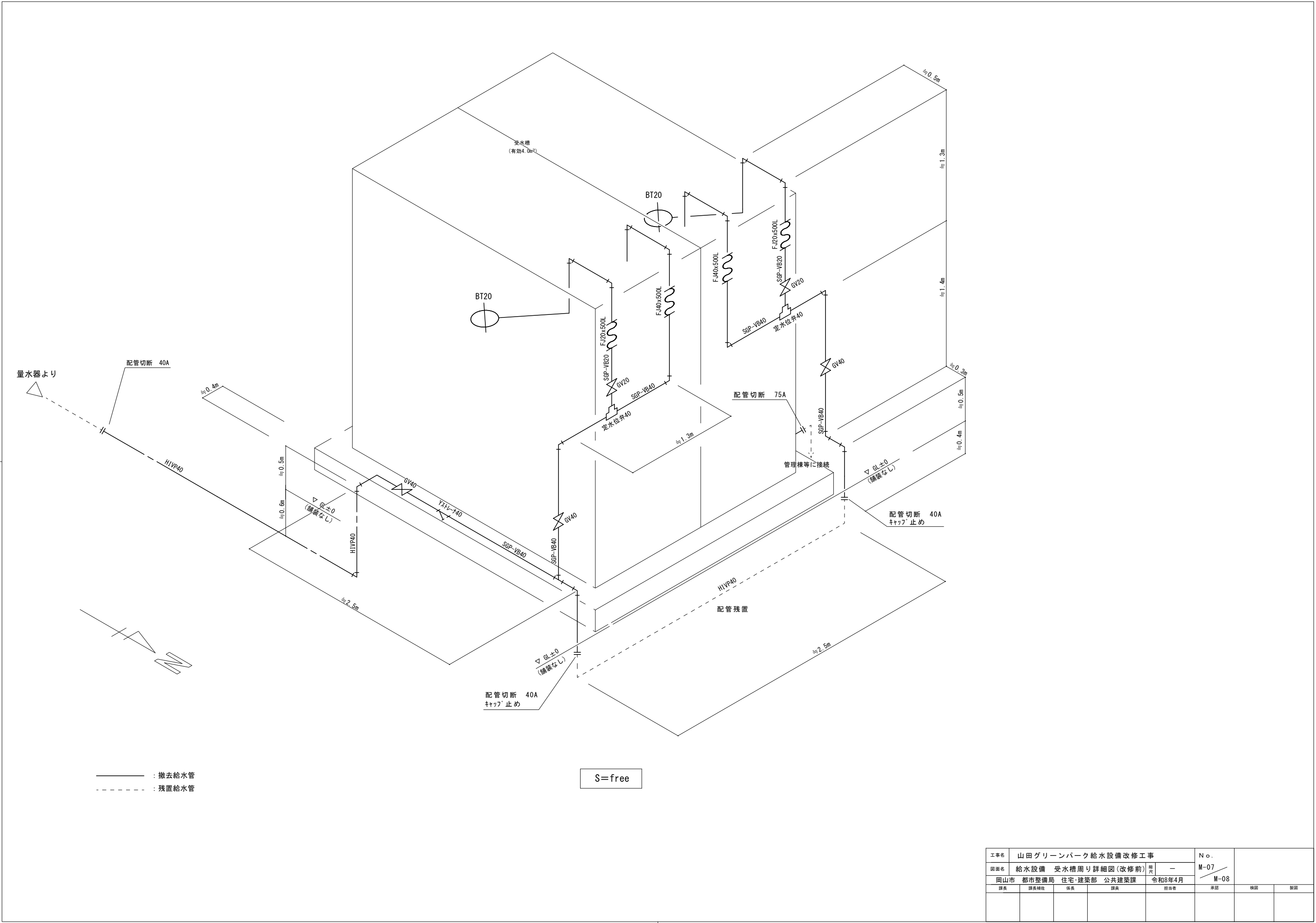
岡山市水道局給水装置工事施行基準による



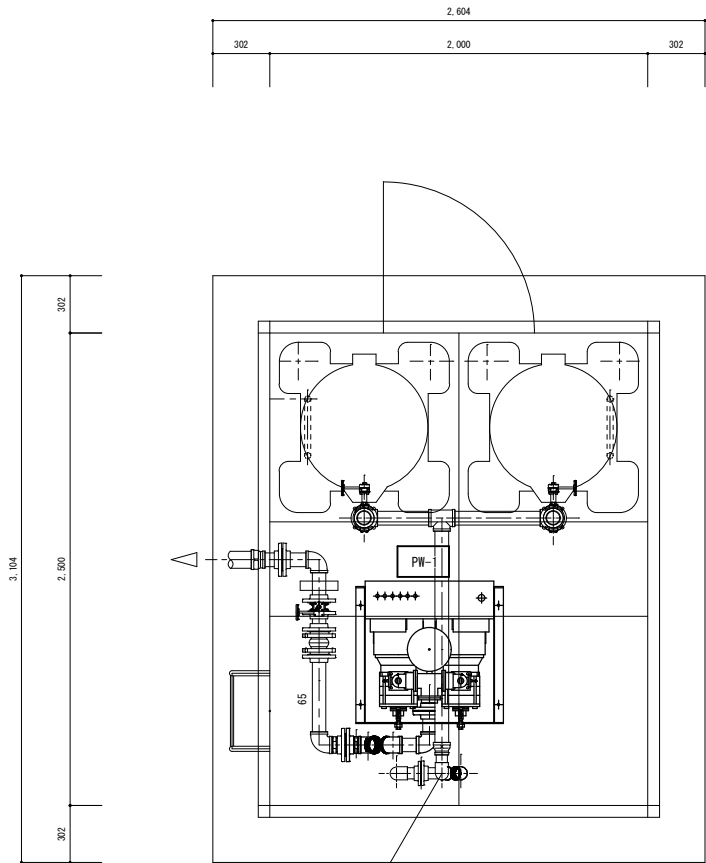
基礎：縦3100 横2570

槽の仕様	建設省告示構造基準適合品 鋼板製一体型水槽	
	材質	SS400
	容量	呼称=8.0m ³ 有効=3.0m ³
	板厚	屋根=6.0mm 側=4.5mm 底=6.0mm
防食仕様	製品質量	2200kg
	材質	厚生省告示20号 合格エポキシ樹脂
	内面施工	加熱硬化型エポキシライニング NE-204 厚さ=0.4mm以上
	外面施工	加熱硬化型エポキシライニング NE-204 厚さ=0.2mm以上
外装仕様	施工法	無溶剤型ホットエアレススプレー
	外装色	指定色
	設計用震度	KH=1.5 KV=0.75
	内梯子	合成樹脂製
結露防止	外梯子	溶融垂鉛メッキ仕上 (HDZT49)
	結露防止	水槽底面：ウレタン吹付30mm
ボルト・ナット		SUS304

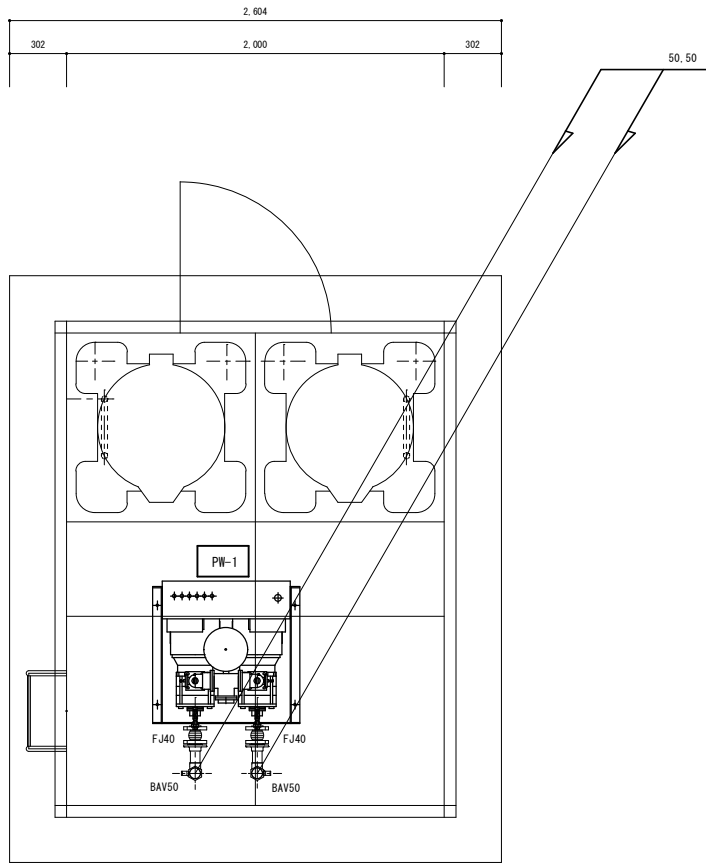
工事名 山田グリーンパーク給水設備改修工事					No.			
図面名 給水設備 受水槽詳細図 (改修後)					縮尺	1/25	M-06	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課					令和8年4月		M-08	
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図	



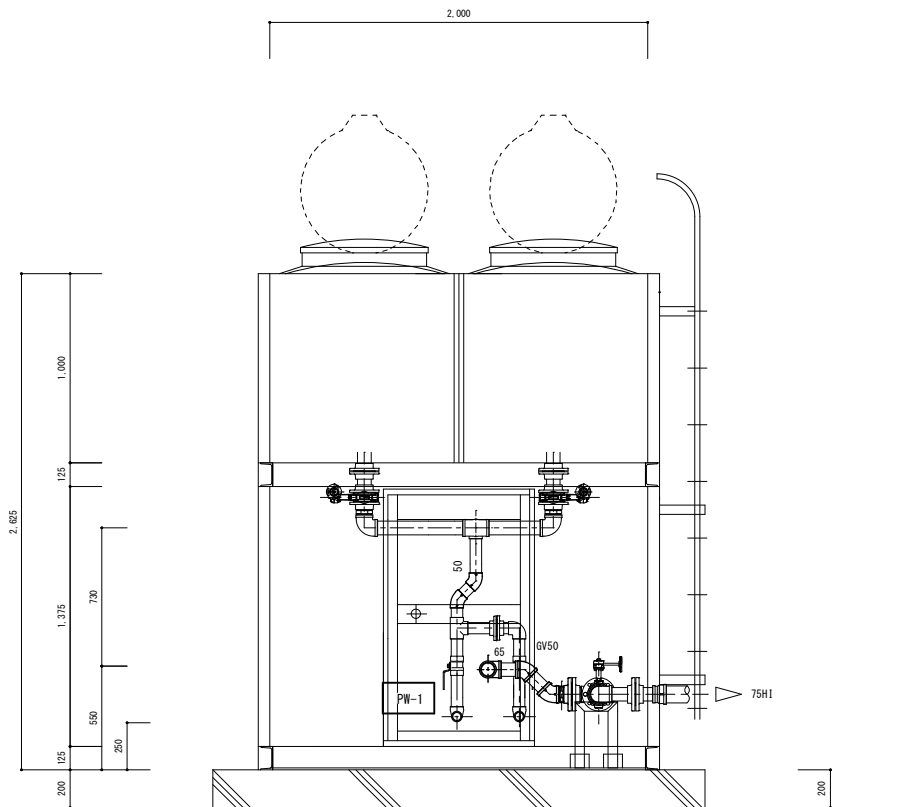
工事名					山田グリーンパーク給水設備改修工事		No.	
図面名					給水設備 受水槽周り詳細図(改修前)		M-07	
					縮尺		—	
岡山市					都市整備局		住宅・建築部 公共建築課	
					令和8年4月		M-08	
課長		課長補佐		係長		課員		
						担当者		
						承認		
						検図		
						製図		



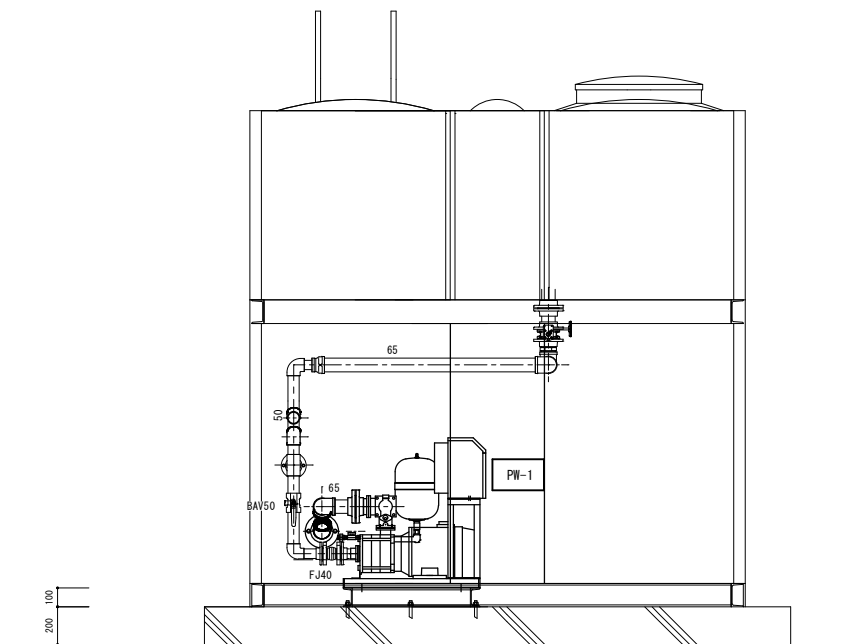
上部配管平面図（前） S=1:20



下部配管平面図（改修前） S=1:20



C展開図（改修前） S=1:20



D展開図（改修前） S=1:20

撤去機器リスト

機器 記 号	名 称	機器仕様	電動機		台数	設置場所	備 考
			φ-V	KW (W)			
PW-1	加圧給水ポンプ	推定末端一定制御型（インバーター）、3相3線多段セレクトリング 自動交互並列運転方式、凍結防止ヒータ 仕様（40φx65φx300L/minx65mmx5.5Kwx2） 標準付属品：制御盤、流量センサー、圧力発信器 逆止弁、浮上レバー圧力計、標準架台、その他	3-200	5.5x2	1	受水槽下部	参考品番 NX-65VFC403-5.5W-e
	ポンプ架台	SUS溝型鋼 〔-100x50x5x7.5枠 SUSM12x83x18x7ホ-ル〕					

PW-1 給水ポンプ廻り弁類					
名 称	規格・サイズ	個	備 考		
吸 込 側	BAV	50	2	JIS10K	
	FJ	40	2	球形	

工事名	山田グリーンパーク給水設備改修工事				N o.		
図面名	給水設備 ポンプ室詳細図(改修前)	縮尺	1/20		M-08		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和8年4月	M-08		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図

岡山市建築設備工事（電気）仕様書

I 工 事 概 要

1 工 事 場 所		岡山市南区山田2263番地2				
2 建 物 概 要						
建 物 名 称	構 造	階 数	無人・有人	延べ面積 (㎡)	消防法令別表1	備 考
受水槽	FRP			20.08		
合計						

工 事 種 目	工 事 種 別	工 事 種 別	工 事 種 別
建物別及び屋外 工事種目	山田グリーンパーク		
・電 灯 設 備			
○勸 力 設 備	改修一式		
・電気自動車用充電設備			
・受 変 電 設 備			
・電力貯蔵設備			
・発 電 設 備			
・太陽光発電設備			
・常 保 護 設 備			
・構内情報通信網設備			
・構内交換設備			
・映像音響設備			
・拡 声 設 備			
・情報表示設備			
・テレビ共同受信設備			
・インターホン設備			
・火災報知設備			
・警備配管設備			
・構内配電線路			
・構内通信線路			
・誘導支援設備			
・監視カメラ設備			
・駐車場管制設備			

II 工事仕様

1 共 通 仕 様

最新版及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁事務部整備の公共建設工事標準仕様書（電気設備工事）最新版及び、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）最新版、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）最新版による。

2 特 記 仕 様

1）項目は、番号に ☐ 印のついたものを適用する。

2）特記事項のうち選択する事項は ☒ 印のついたものを適用する。

項	目	特記事項
①	機材	岡山市公共建築設備機器材料等指定名簿、設備機器等評価名簿(一社)公共建築協会発行 最新版 ※表示する品番・寸法・姿図及び形状は参考であり、製品名及び製造所を指定するものではない。 国等ではある環境物品等の選定の推進等に関する法律(グリーン購入法)に定める所により、 負荷を低減できる材料を選択するよう努める。
1)	環境への配慮	
2)	化学物質を発生する建築材料等	本工事の建物内部使用する建築材料等は、設計図書に決定する所々の品質及び性能を有するとし、次の条件を満たすものとする。 発熱剤はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発熱量が少ないものとする。
②	電気保安技術者	工事現場における電気保安技術者は、工事期間中の電気工作物の保安業務を行うものとする。
③	工事用電力、水、その他	本工事に必要な工事用電力、水などの費用は受注者の負担とする。 官公署への諸手続などの費用は受注者の負担とする。
④	工事用仮設物	構内につくることが、である。ででない
⑤	発生材の処理	引渡しを要するもの。 ○なし ○あり ○機械類 ○配管材料 ○PCB使用機器類 ○生
⑥	石綿含有建材の事前調査	※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、自視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している収付材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、調査結果を監督機関に提出する。 ● 構内設置の場所と敷きならぬ ● 構外搬出後処分処理
7.	残土処理	
8.	他工事との取合い	● はり貫通部の補強及びスリーブ 補強 ● 別途工事 ● 本工事 スリーブ ● 別途工事 ● 本工事 ● 照度器具、幹線等の吊りボルト用インサート ● 別途工事 ● 本工事 ● 軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地 ● 別途工事 ● 本工事 ● 埋込部分電盤、端子盤、プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強 仮枠 ● 別途工事 ● 本工事 補強 ● 別途工事 ● 本工事 ● 天井埋込形器具の取付箇所天井平部類、下地の切込み、下地の補強 ● 別途工事 ● 本工事 ● 自動開閉装置を付ける防火戸の切込み、補強及びドアチェック、フロアヒンジ ● 別途工事 ● 本工事 ● 電気室、自家発電機室などの基礎及びビット(ふたを含む) ● 別途工事 ● 本工事 ● アンテナ基礎 ● 別途工事 ● 本工事
⑨	合成樹脂可とう管	○ PF管を隠ぺいする場合は(タイプ-25)一層管とする。 屋外で露出する場合は二層管とし耐候性に優れたものを使用する。
⑩	呼び線	○ 長さ1m以上の入籍しない管路には1.2mm以上の樹脂被覆鉄線を挿入する。
11.	フッソプレート材質	○ 金具製(SUS 新金属も含む) ● 樹脂製
12.	フロアボックス	○ コンクリートボックス又はアウトレットボックス
13.	フロアプレート	○ 水平高底調節付プレート(空腔防湿、リング付)とする。
⑭	カバープレートの用途別表示	○ 電灯(㉑)、動力(㉒)、電話(㉓)、電気時計(㉔)、拡声(㉕)、インターホン(㉖)、 表示器(㉗)、テレビ共同受信機(㉘)、火災報知(㉙)、警備機(㉚)の表示をする。
⑮	電線種類	○ EM線種は規格等の定めのないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたもので、電圧、耐燃性、端子型などの2次側より図面記載、記録経路、設備サイズ、電線本数、配管方式などは監督機関との協議により別途表示と多少相違、増加させてよい。
⑯	電線本数、管路等	

一般共通事項

一般共通事項

17. 接地極

下記による。

接地の種類	記号	接地抵抗値	接地の種類	記号	接地抵抗値
・ 共同接地	E _{AD}	10Ω以下	・ 常電線用	E _{LA}	100Ω以下
・ 共同接地	E _{AD} ・E _{ELB}	20Ω以下	・ 交換機用	E _L	100Ω以下
・ 第A種	E _A	10Ω以下	・ 通信用	E _{AI}	100Ω以下
・ 第B種	E _B	0Ω以下	・ 通信用(並用増幅器)	E _{BI}	100Ω以下
・ 第D種	E _D	100Ω以下	・ 測定用	E _o	—
・ 第C種	E _C	10Ω以下	・ ELCB回路用	E _{DELB}	100Ω以下

18. 埋設表示

- ・ 黄銅板製(避雷設備用及び接地極埋設表示) ・ SUS製
- ・ 埋設シート(ダブ)
- ・ 地中配線の埋設表示は80×80×300のコンクリート杭とする。

⑬ 再使用機器

取外し再利用機器は清掃及び絶縁抵抗測定への取付けのこと。

⑭ 絶縁抵抗の測定

工事着工前に改修場所の既存の電気設備の絶縁抵抗を測定し、測定表を監督員に提出する。

⑮ 補修など

工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならない補修をする。

⑯ 露出配管の塗装仕様

変圧エポキシ樹脂ブライマー+合成樹脂調合ペイント2回塗り

⑰ 屋外露出配管の仕上げ

冷熱重絶めつき仕上げ [密つき着量300g/m²以上]とする。

24. 耐震措置

設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。また、機器、配管、風速などの耐震対策のため、必要な計算書を監督員に提出する。ただし、重量1kN以下の軽量な機器については、設備機器の製造者の指定する方法で実策に行えばよいものとする。

機器の据付け及び取付け

設計用水平地震力は、機器重量[kN]に地域係数0.9とし、次に示す設計用標準水平地震度を乗じたものとする。

設置場所	機器種別	○特定の施設		・一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 注1)	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
屋上及び塔屋	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	屋上及び塔屋	2.0	1.5	1.5	1.0
	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
中間階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
地下及び1階	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

上層階とは2～6階建の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2階、10階～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。

中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。

重要機器は次のものを示す。(水槽類は燃料小出し槽を含む。)

配電室 ・ 発電装置(防災用) ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置

交換機 ・ 火災報知受信機 ・ 中央監視装置 ・ 通信総合装置

設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

25. あと施工アンカー

施工後確認試験 ※行う ・ 行わない

試験方法 引張試験機による引張試験

確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本当たりの短期引張強度の2/3以上

試験箇所数 1施工単位に対し1本以上

対象機器(・ 配電室 ・ 非常用発電機 ・ 直流電源装置)

26. 養生

受注者名で一括発注工事の場合は下掲電気工事業者名も記入する。

27. 仕上電盤

屋外用型(キュービクルを除く)は ・ SUS ・ ZSP処理 ・ 樹脂

28. 分電盤

中層は下書きワンタッチ開閉とする。 ・ 接地端子は承認図により指示

電力設備

1. 工事範囲

配管 ・ 配線 ・ 機器等取付 ・ 撤去

2. 配線器具

タブプラスチックは通用大角形ネーム付とする。

3. 照明器具

壁付コンセントは原則として通用大角形とする。ただし2口の場合は様式は使用してよい。

防水形コンセント(・ 防滴プレーン ・ ツイストロック形 ・ 露出形 ・ プラグ付)

LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。

LEDの光源色(・ 昼光色 ・ 昼白色 ・ 温白色 ・ 電球色)

ブローイング工法に対応するLED照明とする。

4. 非常用照明の照度測定

設置した各都屋2箇所以上とし、測定箇所は監督員の指示による。

5. 照明制御の照度測定

明るさセンサーによる照明制御を行う都屋は照度測定を行い測定表を監督員に提出する。

照度測定箇所は監督員の指示による。

照度測定時期 100%点灯時(・ 夜間 ・)

調光制御点灯時(・ 夜間 ・ 昼間)

6. EEP「f」の「ポイント」

アウトレットボックス ・ プルボックス ・ EEF用ジョイントボックス

7. 照明器具の接地

コード吊以外の照明器具(屋外灯及び32W相当以上)はすべて接地する。

接地線は銅製として1E1.6mm以上とする。ただし、ケーブルの心線を追加して(配線と同一サイズ、接地線緑色)使用してもよい。

8. 照度センサ設置器

納入数 個

9. 多重復送30W/s送受信機

納入数 個

10. 非常照明・誘導灯

自己点検送信器

11. 分電盤の予備配管

予備の配線用遮断器4個以下の場合(25)相当を1本、5個以上の場合(25)相当を2本を下記のように施工する。

天井スラフの場合・天井又は床下20cmまで立上げ、中深アウトレットボックスにカバープレート取付。

二重天井の場合・天井内まで立上げ、中深アウトレットボックスにカバープレート取付。

12. 照度測定

天井(5mピッチ) ・ 外野(1.0mピッチ) ・ 指定する所

① 工事範囲

○ 配管 ○ 配線 ○ 機器等取付 ○ 撤去

② 監視などへの接続

○ 本工事 ・ 別途工事

③ 監視制御

監視 ○ 警報機による代表監視 ○ 中央監視機による監視

操作 ○ 現場堂による手元操作 ○ 中央監視機による遠方操作

・ 押ボタンスイッチによる遠方操作

・ 操作電源 ・ 受変電設備の操作電源による。

・ その他

4. 引留金物等

フックボルト(DV14・相当以上) ・ アンカーボルト(DV22・相当以上)

受変電設備

1. 工事範囲

配管 ・ 配線 ・ 機器等取付 ・ 撤去

2. 電気方式

高圧 三相3線式 6kV 60Hz

低圧 ・ 三相3線式200V ・ 単相3線式100V/240V

・ 単相2線式 100V ・ 200V

3. 盤内取付装置

盤内ヒーター ・ 換気扇 ・ デジタル式温度計(油入トランス用)

4. 屋外変電基礎

本工事 ・ 別途工事

5. 高圧交流負荷開閉器

開閉形 ・ 密閉(・ 中封形 ・ 重封形) ・ 地絡継電器付

6. 高圧ケーブルの端末処理

屋外形 ・ 一般型 ・ 耐型(・ プレハブ ・ ガシシ)

7. 高圧電力ケーブルの端末部

高圧電力ケーブルの端末部両端にシースの収縮対策(熱収縮テープによるシースずれ防止対策等)を。

8. 予備品等

電力ヒューズ用規定値のものを用いる数 ・ フック棒

トランスの防振ゴムは耐震入トタイプとすること。

発電設備 太陽光発電設備

発 電 機 器 設 備	1. 工 事 範 囲 2. 電 気 方 式 3. 仕 様 明 細 4. チェンブロック天井走行装置 など 5. 防 油 堤 6. 予 備 品 等 7. 工 具	・ 配管 ・ 配線 ・ 機器等取付 ・ 撤去 三相3線式 ・ 6kV ・ 200V ・ 60Hz 別仕様書による。 ・ U字ボルト (・ 本工事 ・ 別途工事) ・ Iビーム (・ 本工事 ・ 別途工事) ・ チェンブロック (・ 本工事 ・ 別途工事) ・ 天井走行装置 (・ 本工事 ・ 別途工事) ・ コンクリート製 ・ 鋼板製 (・ 本工事 ・ 別途工事) 消火器 (粉末ABC、圧式) (・ 10形 ・ 20形 個) 工具 ・ 製造者の標準一式
太 陽 光 発 電 機 器 設 備	1. 工 事 範 囲 2. 太 陽 電 池 ア レ イ 3. A' W-コンテ' イション 4. 系 統 連 携 5. 系 統 連 携 保 護 6. 逆 潮 流 7. 表 示 装 置 8. 計 測 装 置	・ 配管 ・ 配線 ・ 機器等取付 ・ 架台 ・ PV支持架台 ・ 撤去 ・ 出力 kW ・ 設備面積 m ² ・ 出力 kW ・ 電気方式 相 3線式 ・ 1φ ・ 3φ ・ OVGR ・ RPR ・ 有 ・ 無 ・ 有 ・ 無 ・ 温度計 (直射日光の当たる場所に設置は禁忌) ・ 日射計
雷 保 護 機 器 設 備	1. 工 事 範 囲 2. 受 雷 部 3. 引 下 げ 導 線 4. 接 地 シ ス テ ム 5. 内 部 雷 保 護	・ 配管 ・ 配線 ・ 受雷部取付 ・ 接地極埋設 ・ 撤去 ・ 突針 ・ 水平導体又はメッシュ導体 ・ 構造体利用 ・ 引き下げ導線 ・ 建築構造体利用 ・ 試験用接続端子箱 ・ 建築構造体利用 (建築基礎等完了時構造体の接地抵抗を測定し、測定表を監督員に提出する。) ・ A型接地極 ・ B型接地極 ・ SPD ・ SPD分離機 ・ 等電位ボンディング
構 造 情 報 通 信 機 器 設 備	1. 工 事 範 囲 2. ネ ッ ト ワ ー ク 3. 使 用 機 器	・ 配管 ・ 配線 ・ 機器等取付 (キャビネット類) ・ 撤去 ・ 100BASE-TX/FX ・ 1000BASE-T/SX/LX ・ 10GBASE-SR/LR/ER/LX4/T ・ その他 () ・ EM-UTPケーブル ・ 光ファイバー ・ 情報コンセント ・ スイッチング HUB ・ ルーター ・ TA ・ 無線LAN ・ パワーイーサネット ・ その他 ()
構 内 交 換 機 器 設 備	1. 工 事 範 囲 2. ローテーションアウトレット 3. 保 安 器 用 接 地 4. 引 雷 金 物 等 5. 形 式 6. 回 線 数 7. 局 線 表 示 盤 8. 電 話 設 備 9. 電 話 機 へ の 配 線	・ 配管 ・ 配線 ・ 呼び線挿入 ・ 撤去 ・ 一般電話用 個 ・ ボタン電話用 個 ・ 取付 ・ 納入 ・ ユニット形 ・ 防水形 ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ フックボルト ・ アンカーボルト ・ デジタルPBX ・ IP-PBX ・ 内線 / 回線 ・ 局線 / 回線 ・ 面 ・ 多機能電話機 ・ 一般電話機 ・ 玄関子機 ・ IP電話器 ・ PHS ・ PHS用アンテナ ・ 内線電話1台につき次のものを見込む。 ・ TIEF0.65-20 (・ 2.0m ・ m) ・ 2号ワイヤブロクタ1.5m ・ BTIEE 0.4-4P (・ 2.0m ・ m) ・ 2号ワイヤブロクタ1.5m
映 像 音 響 機 器 設 備	1. 工 事 範 囲 2. 映 像 機 器 3. 音 響 機 器	・ 配管 ・ 配線 ・ 機器等取付 ・ 撤去 ・ プレーヤ (DVD ・ ブルーレイ) ・ モニタ ・ プロジェクタ ・ カメラ ・ マイクロホン ・ CDプレーヤ ・ アンテナ ・ ダブルカセットデッキ ・ その他 ()
拡 声 機 器 設 備	1. 工 事 範 囲 2. 増 幅 機 3. マ イ ク ロ ホ ン 4. ワ イ ヤ レ ス 受 信 機 5. ス ピ ー カ ー 6. 音 量 調 節 器 7. ア ン テ ナ 8. C D プ レ ー ヤ ー	・ 配管 ・ 配線 ・ 機器等取付 ・ 撤去 ・ ・ ※ 図面参照
情 報 表 示 機 器 設 備	1. 工 事 範 囲 2. マ ル チ サ イ ン 装 置 3. 出 退 表 示 装 置 4. 時 計 表 示 装 置 5. 予 備 品	・ 配管 ・ 配線 ・ 機器等取付 ・ 撤去 ・ 壁掛形 ・ 自立形 ・ 縦書 ・ 横書 ・ 発信器 ・ 埋込形 ・ 卓上形 ・ 親時計 ・ ラック形 ・ 壁掛形 ・ 子時計 ・ 壁掛形 ・ 埋込形 ・ 天吊形 ・ アナログ ・ デジタル ・ 電球・ヒューズ ・ 現用数の2倍 ・ 10個
テ レ ビ 共 同 受 信 機 器 設 備	1. 工 事 範 囲 2. 同 軸 ケ ー ブ ル 3. ア ン テ ナ 4. ア ン テ ナ 支 持 ポ ー ル の 取 付 5. 増 幅 機 6. 電 界 強 度 の 測 定	・ 配管 ・ 配線 ・ 機器等取付 ・ 撤去 ・ 高周波同軸ケーブル (EM-nC-2E) ・ 6'12'18'24'同軸ケーブル (EM-S-nC-FB) ・ AU1形 ・ AU2形 ・ BS ・ 110° CS ・ FM ・ AM ・ 壁面 (点支持) ・ 自立 ・ A部の長さ m ・ 形式 () ・ 要 ・ 不要
イ ン タ ー ホ ン 機 器 設 備	1. 工 事 範 囲 2. 電 源 種 3. 機 器 4. 通 話 網 方 式 5. 電 話 方 式	・ 配管 ・ 配線 ・ 機器等取付 ・ 撤去 ・ AC100V ・ 電話形観機 ・ スピーカー形観機 ・ 電話形子機 ・ スピーカー形子機 ・ 親子式 ・ 相互式 ・ 同時式 ・ 交互式

火災報知設備

火災報知設備

1. 工事範囲図

2. 自動火災報知設備

3. 非常警報装置

4. 自動閉鎖設備

5. ガス漏れ警報設備
(L P G)

6. 漏電火災警報設備

7. 予備部品

・ 配管 ・ 配線 ・ 機器等取付 ・ 撤去

・ 受信機 P 型線回路

・ 副受信機線回路

・ 自立型 ・ 壁掛型

・ 発信器、ベル、表示灯等の形式 ・ 一体型 ・ 複合装置 ・ 単独型

・ 防火戸 ・ 防火シャッター ・ 防煙ダンパー

・ 検知器 ・ 移動接点付受信機線回路

・ 認定品 ・ 非認定品

・ 1級認定品

電球、ヒューズ、プロテクターは ・ 製造者の標準一式

工具は ・ 製造者の標準一式

警備配管設備

1. 工事範囲図

2. 施工方法

3. 電源

4. 警戒方式

・ 配管 ・ 呼び線挿入 ・ 撤去

・ 経路面参照

構内配電線路

1. 施工方法

2. 地中箱

・ 地中線保護方式 ・ 厚鋼電線管 ・ ポリエチレン被覆鋼管（外面一層型）

・ コンクリートトラフ ・ H I V E ・ 波付硬質合成樹脂管

・ 架空線電柱 ・ 連心力鉄筋コンクリート柱 ・ 木柱（注入柱）

・ パンダマスト ・ 重めっき鋼管ポール

電柱名札 ・ 要 ・ 不要

支線 ・ 垂始めつき銅より線

・ 埋設深さ ・ G L - 6 0 0 ・ G L - 3 0 0 ・ 路盤下-300以上（道路を除く）

・ 面の記号表示 ・ 錆止め塗込み（亜鉛・電カ・導通）

① 機器取付高

機器取付高は下記を標準とする。ただし、監督官の指示により変更することができる。

名 称	測 点	取付高 (mm)	名 称	測 点	取付高 (mm)		
電力系統	取引用計器	地上～意中心	1,800	火災受信機・副受信機	床 上 ～ 中心	800～1,500	
	引込開閉器	床 上 ～ 中心	2,100	火災専用総合盤	床 上 ～ 中心	800～1,500	
電 燈	分電盤	床 上 ～ 中心	1,500(上端1,900以下)	報告機	発信器	床 上 ～ 上端	800～1,500
	スイッチ	床 上 ～ 中心	1,300	知 べ る	ル	床 上 ～ 中心	2,300
	コンセント（一般）	床 上 ～ 中心	300	設備	発信器標識灯	床 上 ～ 中心	2,100
	コンセント（和室）	床 上 ～ 中心	150	備	がし漏れ警報機(LPG)	床 上 ～ 器具上部	300以下
	コンセント（台所）	台 上 ～ 中心	150	拡 散	壁掛けスピーカー	床 上 ～ 中心	2,300
	コンセント（土間）	床 上 ～ 中心	800	声	壁付音量調節器	床 上 ～ 中心	1,300
灯	ブラケット（土間）	床 上 ～ 中心	2,100	情 報	表 示 器	床 上 ～ 中心	2,300
	ブラケット（縁場）	床 上 ～ 中心	2,000～2,500		壁 付 発 信 器	床 上 ～ 中心	1,300
	ブラケット（鏡上）	鏡 上 端 ～ 中心	150		プ ザ ー	床 上 ～ 中心	2,300
	身障者便所操作盤	床 上 ～ 中心	1,100		壁付押ボタン（一般）	床 上 ～ 中心	1,300
	身障者便所スイッチ	床 上 ～ 中心	600～1,100		"（身障者玄関）	床 上 ～ 中心	900
	"（多目的使用）	床 上 ～ 中心	900/400				
動力	壁掛形制御盤	床 上 ～ 中心	1500(上端1900以下)	表 示	電 源 箱	床 上 ～ 中心	1,500
	手元開閉器	床 上 ～ 中心	1,500		壁掛け時計	床 上 ～ 中心	1,500(上端1,900以下)
	操作スイッチ	床 上 ～ 中心	1,300		子 時 針 計	床 上 ～ 中心	2,300
電 統	端子盤（EPS）	床 上 ～ 中心	1500(上端1900以下)	インクワイアホン設備	壁付ｲﾝｸﾜｰ(一般)	床 上 ～ 中心	1,500
	端子盤（室内）	床 上 ～ 下端	300		壁付ｲﾝｸﾜｰ(身障者)	床 上 ～ 中心	1,100
	保安器箱	天井下～上端	200		壁付位置ボックス	床 上 ～ 中心	300
	取付位置ボックス	床 上 ～ 中心	300		壁付位置ボックス(和室)	床 上 ～ 中心	150
認 定	取付位置ｶﾞｼﾞﾔﾝ(和室)	床 上 ～ 中心	150	ラレド共同受電機	機器収納箱	天井下～上端	200
	壁付電話機	床 上 ～ 中心	1500		直列ユニット	床 上 ～ 中心	300
受電機	接地端子箱	地上、床上～中心	500		直列ユニット(和室)	床 上 ～ 中心	150

② 配線記号その他

※ 図中配線で法記記入のないものは、下記による。又、非環境対応型電線・ケーブルの場合はVを追記すること。（例 V.FV）

イ. 電灯設備の場合

電線管は ・ 薄鋼 ・ なじな とする。

_____ 1.6×2(19) _____ 1.6×3(19) _____ 1.6×4(25) _____ 2.0×2(19)

_____/_____/_____ 1.6×5(25) ____//_____/_____ 1.6×6(25) _____ H _____ HIV2.0×2(19) IEI. E6

F2 _____ EEf1.6-2C F3 _____ EEf1.6-3C F2E _____ EEf1.6-2C IEI. E6

F4 _____ EEf1.6-2C×2 F5 _____ EEf1.6-2C+EEf1.6-3C 2F2 _____ EEf2.0-2C 2FE _____ EEf2.0-2C IEI. E6

F6 _____ EEf1.6-3C×2 F7 _____ EEf1.6-3C+EEf1.6-2C×2 2F3 _____ EEf2.0-3C

ロ. 動力設備の場合 _____ 1.6×3(19)

ハ. 電気時計・拡声設備の場合 _____ 1.2×2(19) _____ 1.2×3(19) _____ 1.2×5(19)

※ 照明器具用設置ボックスの位置

・ 非常照明用白熱灯組込器具（電源別置）には、一般用及び非常用位置ボックスを設けること。

※ 予備電源別置型の非常照明は、器具内の導り線子を使用時は、配線と同様に耐熱耐燃性を満足すること。

上記により難い場合は、分岐ボックスを設置し、端末配線処理を行うこと。

工事名

図面名

岡山市 都市整備局 住宅・建築物 公共建築課

令和 8 年 4 月

N o .

E-01

E-03

課長

課長補佐

係長

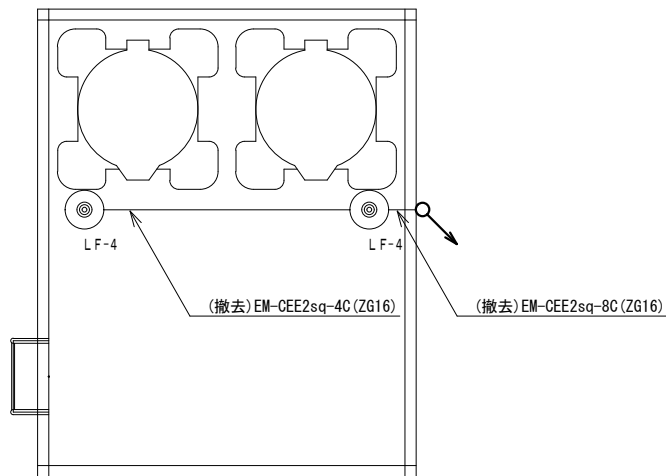
課員

担当者

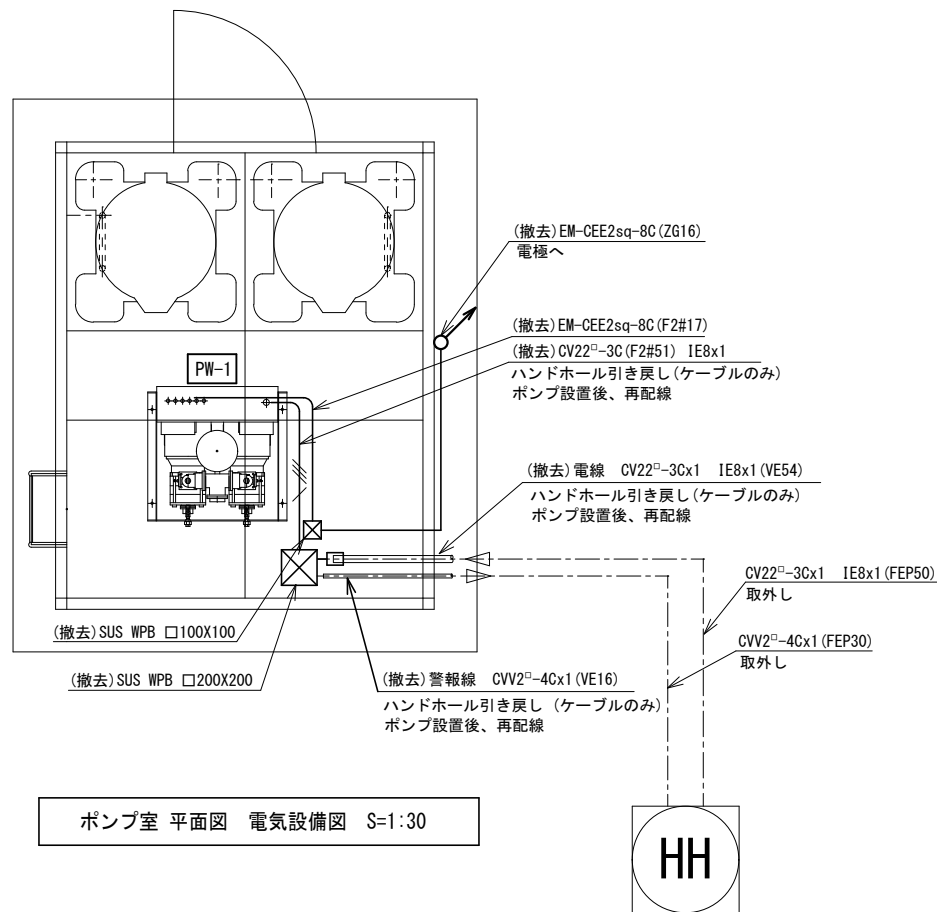
承認

検印

製印

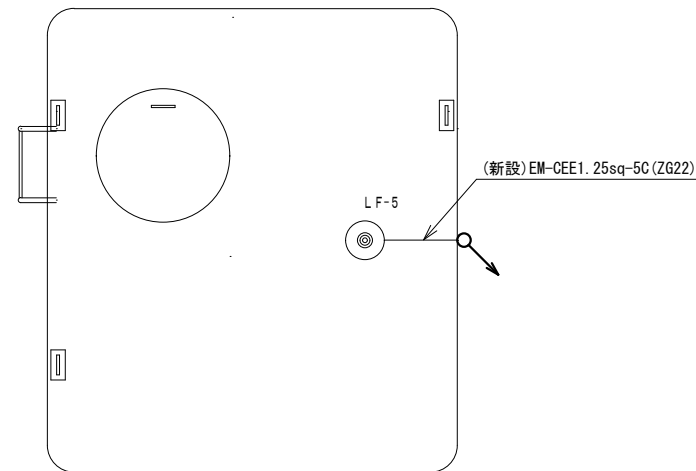


ポンプ室 屋根部 平面図 S=1:30

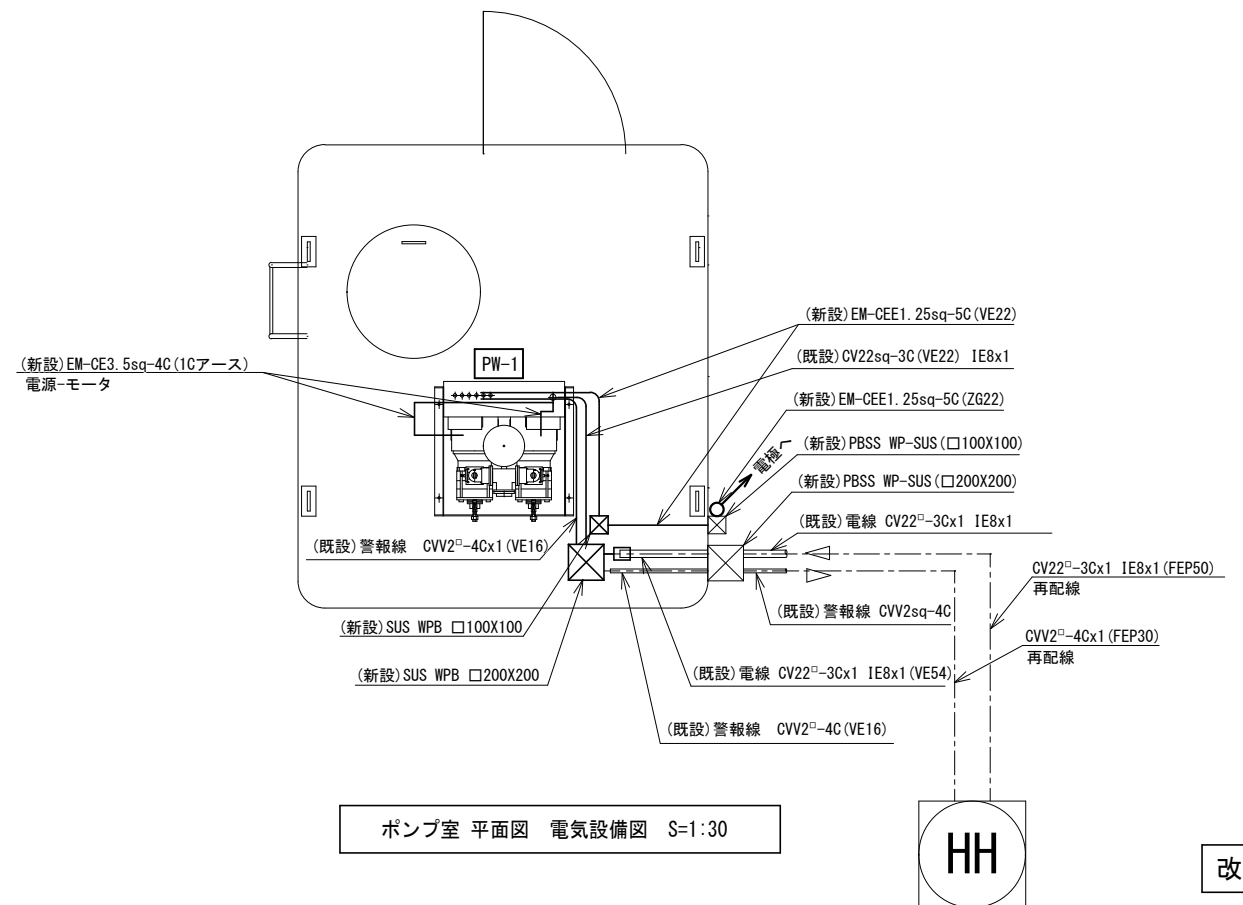


ポンプ室 平面図 電気設備図 S=1:30

改修前



ポンプ室 屋根部 平面図 S=1:30



ポンプ室 平面図 電気設備図 S=1:30

改修後

工事名	山田グリーンパーク給水設備改修工事				No. E-02 <div></div> E-03				
図面名	ポンプ周辺電気設備図			縮尺			1:30		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課							令和 8年 4月		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者		承認	検図	製図	

